

へいわ もり こうえん 平和の森公園

長岡空襲の犠牲者^{ぎせいしゃ}1,484名の中には、280名余の学童^{がくどう}が含まれていました。平和の森には、このいたいけな学童たちの霊^{なぐさ}を慰めるために、『平和の像』が建てられています。この像は、県教職員組合^{けんきょうしよくいんくみあい}が、全県下^{ぜんけんか}から募金^{ぼきん}を募り、慰霊^{つの}と平和への限りない願い^{いれい}を込めて作成しました。昭和26年11月に長岡駅前広場に設置され、その後悠久山公園^{ゆうきゅうざんこうえん}、明治公園^{めいじこうえん}と移転し、平成8年、現在の平和の森公園に安住^{あんじゅう}の地^えを得ました。平和の像の中には、銅版^{どうばん}に刻まれた「昭和二十年八月一日長岡市戦災学徒名簿」^{きざ}が納められています。

長岡戦災資料館発行「太平洋戦争と長岡空襲」より抜粋



しょうふくじ 昌福寺



長岡空襲で命を失った1,484名のうち、身元^{みもと}が確認^{かくにん}できない犠牲者^{ぎせいしゃ}の遺体^{いたい}は、無縁仏^{むえんぼつ}として合同^{ごうどう}で火葬^{かそう}に付され、昌福寺^{しょうふくじ}の境内^{けいだい}に葬^{ほうむ}られました。その後の昭和22年9月、市民^{じょうざい}の浄財^{じゅなんしや}を得て、殉難者^{じゅなんしや}の墓^{いれい}が建てられました。

戦災殉難者を慰霊^{いれい}するため、昌福寺では、毎年8月1日に慰霊祭^{いれいさい}が行われています。早朝墓前供養^{ぼぜん ぐよう}がしめやかに行われ、大勢の人々がお参り^{さんれつ}に参列しています。

